

ルート2 片道約 8.7km

**400年の歴史をもつ「つくば道」を
たどり、湧水を巡るコース**

つくば道

寛永3年(1626年)、三代将軍家光の時、中禅寺(現在の筑波山神社)の堂社を一新する工事が始まり、北条から神郡を抜けて筑波に至る資材運搬路が作られました。これが後に「つくば道」と呼ばれ、参詣道となりました。



田井郵便局



つくば道入口

筑波交流センター 徒歩13分 1.1km → 矢中の杜(旧矢中邸)の横井戸 徒歩1分 0.1km → つくば道入口 徒歩18分 1.5km → 普門寺 徒歩21分 1.7km

蚕影神社の湧水 徒歩59分 3.7km → 筑波山神社(御神水) 徒歩7分 0.6km → 観光案内所 (観光案内所→沼田→筑波山口→筑波交流センター)

※地図上の数字・記号は裏面の説明と対応しています。



普門寺

真言宗で鎌倉末期の創建と伝えられます。江戸時代には約300の門末寺院をもちました。室町から戦国時代には茨城南部を収めていた小田氏の北の祈願寺で、南の法泉寺、東の南円寺、西の大聖寺で四方を固めていました。



矢中の杜(旧矢中邸)の横井戸

昭和13年に矢中龍次郎氏により建てられた豪邸を平成22年からNPO法人矢中の杜の守り人が保存活用しています。敷地内にある横井戸は石造で、横穴が20m伸びています。

※邸宅公開日については必ず矢中の杜ホームページをご確認ください。



矢中の杜



横井戸